



# KUFS TOKYO NEWSLETTER

2009年7月14日

京都外国語大学校友会東京支部

VOL.15

## トピックス

- ごあいさつ
- 総会・懇親会のご報告
- 外大キャリアサポート
- 外大生・横顔シリーズ
- 海外便り
- ・「カリフォルニアの風」
- ・「フランス編」
- 校友会役員紹介

東京支部主催

関東地区卒業生の集い

総会・懇親会のご報告

7月4日(土)11:30 - 14:00

天王洲アイル

第一ホテル東京シーフォートにて

テーマは

*Change, Yes We Can*

昭和62年スペイン語学科卒業

登川治郎実行委員長が

リーダーシップを發揮!

## \* 東京支部 NEWSLETTER 第15弾 \*

46年ぶりに日本で見られる皆既日食まで、あとすこし！これを逃すとあと26年間は見らないそうなので必見です。7月22日に見られる皆既日食を小笠原諸島の母島から生中継したり、携帯電話向けにも配信されたりするそうですね。ネット中継のほかにも、あるスーパーなどは各地の店舗で中継イベントが行われるようですよ。



この東京支部 NEWSLETTER も今回で **15回目**です！KUFS 現役生と卒業生の架け橋になることを目標に、情報交換のコミュニケーションスペースとして、ますますの充実を図ってゆきたいと思います。まだ **NEWSLETTER** を受け取られていらっしゃらない方をご紹介しますよう、ご協力をお願いいたします。

連絡・投稿先は >>> [tonegawa@gm-group2.net](mailto:tonegawa@gm-group2.net)

## 総会・懇親会のご報告

京都外国語大学校友会東京支部主催  
「第21回関東地区卒業生の集い」(総会・懇親会)のご報告



今年の  
第21回東京支部卒業生の集い  
は  
7月4日(土)  
天王洲アイル  
第一ホテル東京シーフォート  
にて開催されました!

7月4日(土)、東京支部主催の関東地区在住の卒業生の集いが開催されました。今年のテーマは、"Change! Yes, We Can." 東京支部では毎年新たに選ばれた実行委員長がその年の集いのテーマ設定から会の全体の運営・実施にリーダーシップを發揮します。今年は、昭和62年スペイン語学科卒の登川治郎氏が担当、東京湾を全貌できるシーフロントの28階からの絶景を楽しみながらの2時間半の集いを率いてくれました。校友会、大学からも多くのご参加をいただき今年も盛大な集いとなりました。

参加者の皆様からは、非日常の空間で食事も美味しく、懐かしい仲間いた

食事も美味しく、懐かしい仲間  
会えて楽しかったと数多くの声

「大淘汰時代を勝ち抜くために」  
今年のテーマに沿った  
白熱したやりとりが...

大学関係、校友会関係 そして  
卒業生の皆様に対し  
改めて御礼申し上げます

外大キャリアサポートセンター  
池崎宏昭センター長からの発表  
平成21年度文部科学省  
「学生支援推進事業」  
学生支援プログラムが採択

取り組み名称  
ホームステイ型首都圏就職活動  
支援  
オペレーションシステムの構築

くさん会えて、本当に楽しかったという声を数多くお寄せいただきました。



同時に、少子化の進行と共にどの大学も厳しい環境下にある昨今、わが母校、京都外国語大学の未来に向けても力のこもった語らいがなされました。就職活動の分野でも内定取り消し等が起こる昨今の現状から、大学と校友会、現役学生と卒業生が車の両輪となるべく、もっともっと相乗効果を発揮すべきではないか、共にこの「大淘汰

時代を勝ち抜くために」、意識変化・態度変革を行い、大きく変化・成長を遂げるべきではないか、と正に今年のテーマに沿った白熱したやりとりが、複数のテーブルでなされていました。上質の語らいが大いに盛り上がったのも東京支部らしい一コマでした。

最後にいつもながら深い理解と惜しみない協力をいただいております校友会坂本会長はじめ関係各位、森田理事長・総長はじめ大学関係者、そして、集いの主役である卒業生の御一人御一人の皆様に変更して御礼と今後とも引き続きのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

**お集まりの同窓生の皆様、ありがとうございました！！**

## 外大キャリアサポート事情 第10回



7月4日、東京支部の卒業生の集いに、キャリアサポートセンターから池崎宏昭センター長のご出席をいただきました。当ニュースレター編集部でも、何か重大発表があるとの前情報を入手、当日のセンター長のスピーチに注目しました。

ちょうど集いの前日の3日に文部科学省から内示があり、平成21年度文部科学省「学生支援推進事業」学生支援プログラムが採択

されたとの発表でした。学生支援推進プログラムとは、文部科学省が、各大学等における学士力の確保や教育力向上のための取組の中から、達成目標を明確にした効果が見込まれる取組を選定し、広く社会に情報提供するとともに、重点的な財政支援を行うことにより、我が国の高等教育の質保証の強化に資することを目的とした事業を指します。

その取り組みの名称は、「ホームステイ型首都圏就職活動支援オペレーションシステムの構築」。現在、3割近い卒業生が首都圏で就職している実態があり、学生にとって首都圏での「就活」は経済的・心理的障壁が大きく、学生の肩に重くのしかかっています。そこで、東京支部との協力・連携でホームステイ型オペレーションシステムが構築できないか。そのための東京駅近辺でのオフィス開設やリアルタイムな情報収集と支援を行うワンストップサービスができないか。さらに、昨年来、話題となった企業の内定取り消しを未然に防止するための適切な企業選択を行うこと等を目的としていま

経験豊かな卒業生との

コミュニケーションで

学生の人間力の向上を期待

昭和54年度ドイツ語学科卒業

キッセイ薬品工業にご勤務の

高根郁男さん

学生時代は、女性とテレビ局に

はまっていたが、

キッセイ薬品工業就職で

充実したサラリーマン生活

今年、外大より新入社員入社で

活躍が楽しみ

メキシコ料理レストラン

ラ・カシータ オーナーシェフ

渡辺庸生さん

思い返せば

横暴なメニューの取り方が

面白がられて・・・

す。学生が社会経験豊かな卒業生とコミュニケーションを持つことで人間力の向上も期待できるとして、本取り組みの今後の展開が待たれるところです。

## 外大生・横顔シリーズ



昭和54年度ドイツ語学科卒業  
キッセイ薬品工業(株)にご勤務  
高根 郁男さんをご紹介します。

私は昭和54年3月にドイツ語学科を卒業しました。同期 1にはドイツバンクに就職し今はフランスの銀行に再就職した山田 幸雄君がいます。山田君は、現在インドに単身赴任の為、メールで励まされています。私達の卒業時期も100年に1度の就職難でした。

当時NHK京都支局のカメラ、記者の見習いをしながら学生時代を鐘紡ミスサラダガール(同じ独語)とつきあい青春を謳歌していました。学生時代に女性、テレビ局に狂っていた為、充実したサラリーマン時代を過そうとドイツ語を生かしてキッセイ薬品(毎週木曜日ニュースステーション提供)に就職しました。同じ大学でも大阪大学や大阪市立大学、大阪医科大など医学部を担当してドイツ語や英語を生かしました。今は大阪、福岡、四国、東京、関越の管理職の協力を得て世界戦略の糖尿病、排尿障害、アレルギー治療薬を世界に広める活動をしています。家族や個人で欧州や東南アジアに旅行するのがストレス発散です。今年のキッセイ薬品新人に同じ京都外大独語の私市社員が今後活躍してくれるのが楽しみです。

## 外大生・横顔シリーズ



メキシコ料理レストラン  
La Casita オーナーシェフ  
昭和46年 イスパニア語学科中退  
渡辺庸生さん  
(昭和23年10月7日神戸生れ)  
連載7回目です。

～開店当時の手作りレストラン～

9年の歳月を培った旧山手通りのラ・カシータは我が意の想定を遥かに超えて、顧客の胸に印象深く刻み込まれていた。思い返してみれば横暴の限りなのだが、客が来店すると即座にメニューと伝票、ボールペンを卓に置き、「ご注文が決まりましたらこちらにお書き下さい。」と対応していたのである。顧客の知識の中にあるTEX-MEXに依存する偏った思いを蹴散らして、本来の姿に遭遇して頂くために強行した手法が意外にも面白いと喜ばれたのである。最初は戸惑いを覚えていたそれぞれの客達も、次に来店した時にはメニューを選びながら、「この店は注文を自分で書くんだよ。」と、まるでオリエンテーションのように参加する意識で捉えていた。

飲食業の常識を覆した手法は顧客の心に自分が先に見つけた店と優越

30年前貴方は愛想がなかった

と言われる

語り草も数知れず…

ラ・カシータのマスターは

偏屈、頑固

夏でもアイスコーヒーなどなく、

お酒はお料理より高かった

感を抱かせ、さらに個別の料理名を覚えてもらえた上、オーダー間違いも無い、正に一石二鳥の結果を得たのである。

30年前のその頃を振り返る顧客達によく言われるのが、あの頃の貴方は愛想が無かった、怖かった、よく叱られた…でも美味しかったからと、味の定評が救いになっていた様である。現在の自分はもう当時の様子を殆ど忘れてしまっているが、受けた方はしっかりと記憶に残っているものかもしれない。

語り草となる過去のエピソードは数知れず、先日も常連客の一人、メーカーアーティストのトニー田中氏と話していたら、「そういえば、10年くらい口をきいてくれなかったよね。」と当時の話題になった。敢えて無視した訳ではないが、芸能界や経済界、写真や芸術の各専門分野の著名人達が大学来店してくれた状況の中で、親しく話す事が心隙を作り、つい相手の意向を聞いてしまう自分を恐れていただけのことであった。一般の方々への接客同様に料理の説明だけに絞り込んだ対応は、常に持て囂される立場の彼らに意外性を植え付け、「ラ・カシータのマスターは偏屈、頑固だ。」と悪評(?)を広めてくれた。頑なな姿勢は一点の曇りも許さず、夏の季節でもアイスコーヒーはメニューに無かった。メキシコに存在しないだけの理由で…。酒もメキシコビールとワイン、テキーラ、マルガリータだけに限定し、全ての価格を料理よりも高くしていた。その頃のメキシコ料理の看板を掲げていた他店が夕方から夜中の営業態勢で、飲んで騒いでのイメージしか持ってもらえなかったからである。飲みに来る場所じゃない、食事に来て欲しいと午前中から OPEN してラスト・オーダーは 21 時 30 分であった。こんな店によくぞ顧客達は辛抱して付いて来てくれたと、今更ながらに感謝にたえない。



次回へ続く ~ TO BE CONTINUED ~ お楽しみに !

## 海外便り「カリフォルニアの風」

海外便り「カリフォルニアの風」

昭和 38 年度英米語学科卒業の

鶴亀彰さん



カリフォルニア在住の  
昭和 38 年英米語学科卒業の鶴亀彰さん  
からのお便りです。

今号より鶴亀彰さんに毎号シリーズで、「カリフォルニアの風」と題してコラム記事を寄稿いただきます。鶴亀さんには一昨年の卒業生の集いにアメリカからご参加をいただきました。

「伊一六六潜水艦 鎮魂の絆」

印税の一部は外大体育館建設に

ご寄付

戦争で亡くなった者たちが

心から望むもの

日米文化の交差点

「カリフォルニア！」

カリフォルニアの今

日本文化が日常的に見られる

日本アニメブーム

Anime Expo 2009

モーニング娘 やマンガ家も

ハリウッドでは

秋には鉄腕アトムが封切り予定

この度、学習研究社から2冊目となる著書を発表されることとなりました。今回の本は二年前に出版された「海に眠る父を求めて 日英蘭奇跡の出会い」の続巻です。前巻の印税の一部、京都外大の体育館建設にご寄付頂きました。

題名 「伊一六六潜水艦 鎮魂の絆」

著者 鶴亀彰

出版社 学習研究社

価格 1890円(税込み)

出版日 2009年7月21日

「戦争で亡くなった者たちが心から望むものは何であろうか？

それは平和である。愛する者たちや郷土や祖国や世界の安寧である。

残された私達が平和と安寧の実現に真摯に努力することこそ尊い命を亡くした者たちへの最大の鎮魂である。三歳の時に父を亡くした筆者が還暦を過ぎてから妻と二人で始めた父を求める旅は予想もしない多くの発見をもたらした。それは太平洋戦争が引き起こした、今も続く、悲しみや痛みとの出会いであり、人智を越えた不思議な出会いであった。

伊一六六潜水艦乗組員遺族同士との心の交流であり、同潜水艦が撃沈し、撃沈されたオランダやイギリスの潜水艦関係者との和解と友情であった。真珠湾攻撃のアメリカ側の英雄やフィリピンで日本軍の捕虜となったアメリカ兵たちとの交流でもあった。

二〇〇三年から始まった筆者夫婦の足掛け七年の旅は過去の憎しみを未来の希望に変えるものだった。心に悲しみや痛みを持つ者同士がお互いに思いやることで素晴らしい和解と友情が生まれることを実証するものだった。これはその実録である。」

「日米文化の交差点」



カリフォルニアに住み始めて42年になりますが、今ほど日本のありとあらゆる文化が日常的に見られる時代はありません。

独立記念祭休日の週もロサンゼルス・コンベンション・センターでは「Anime Expo 2009」が開催され、4万人余りの観客が押し寄せていました。日本から飛んで来た「モーニング娘」が歌と踊りで会場を盛り上げ、日本の有名な漫画家やアニメーター達が通訳を付けながらも、最新のマンガ・アニメ事情を語っていました。これを主催する団体の名前はカリフォルニア州アナハイム市に本部を置く「日本アニメーション振興会」です。

ハリウッドでも日本のマンガやアニメの映画化が進んでいます。私達が子供の頃に楽しんだ「鉄腕アトム」も現在製作中でこの秋には「Astro Boy」のタイトルで全米封切される予定です。

今までにも「スピードレーサー」や「ドラゴンボール」なども映画化されていま

サムライ、盆栽、武道...

日本食ブームもさらに広がり

高級ホテルイベントでは

sushiが一番人気!

若者にはラーメンが...

日米文化の交差点として

カリフォルニアは

その存在価値が高まるだろう

平成 12年フランス語学科卒業

寺尾恵さん

お邪魔した家の庭には

タワワに生ったさくらんぼの木

す。この傾向は日本映画のアメリカ版製作の動きと共にこれからも加速しそうです。日本のオタク現象はカリフォルニアにも飛び火し、「コスプレ」大会なども定期的に開催されています。

先だっては東京国立博物館所蔵の日本の武士社会で使用された武具や刀剣に加え、日常生活での道具などが「サムライ展」としてサンタアナ市の美術館で長期に渡り開催され、その精緻な芸術性を愛でるアメリカ人観客の姿が眼を引きました。カリフォルニアではいつもどこかで日本の美術展や文化イベントが開かれています。盆栽や錦鯉や秋田犬のショーから空手・柔道・剣道・薙刀の試合から最近では毎年相撲トーナメントも開かれ、人気を呼んでいます。

日本食を楽しむ層は以前の一部の日本趣味の人々から広く一般大衆に広がっています。今日では sushi の出ないパーティは豪華なパーティとは言われない程です。高級ホテル等で催されるイベントでも sushi は一番人気です。ロサンゼルスのリトル・トーキョーには「大黒屋」と言うラーメン屋があるのですが、そこは日本人以上にロサンゼルスのヒップな若者で大人気です。豆腐やソバに続き、酒やお茶も人気が高まっています。

同時に依然としてカリフォルニアはアメリカのエンターテインメントの日本への発信地です。最近亡くなったマイケル・ジャクソンや「チャーリーズ・エンジェル」のファラー・フォーセットの死には日本でも多くのファンが悲しみました。現在でもハリウッド映画は多くの日本人ファンを持っています。今後ますます日米の文化の交差点としてカリフォルニアはその存在価値を高めて行くだろうと感じています。

## 海外便り「フランス編」



夢の実現のためにフランスでがんばっていらっしゃいます  
平成 12 年度フランス語学科卒業の寺尾恵さんからの便りです。

### Le temps des cerises さくらんぼの実る頃

先日お邪魔したお宅のお庭で。前菜のタブレ(クスクスのサラダのようなもの。クスクスは世界最小の Pasta だそうで、セモリナ粉からできている。見た目はまるで粟の様。おいしいからと食べ過ぎるとおなかの中で凄く膨らむ...)を食べ過ぎてデザートを食べられなかった私に、お腹に余裕ができたなら食べたいいいよ、と指差す先にさくらんぼのタワワになった木。

日本に桜の木はいっぱいあれど、あまり実が生っている様を見たことがない。感動して、心の中で軽快に鳴り始めるアコーディオンのイントロ。頭の中にはさくらんぼの実る頃がゆっくりとしたメロディーを奏でる。

日本では加藤登紀子さんの歌うのが有名だと思います。どうしてだか 5 月の歌と思っていたので、6 月の終わりに近いこの時期に実るさくらんぼ

フランスに来てちょうど1年

めまぐるしい1年だった...

日本をはるか離れ、気づいたこと

フランスで学んだこと

「友人、家族の大切さ！」

外大校友会理事、会計

昭和45年度英米語学科卒業

中口泰幸さん

校友会は、本部、支部の多くの

皆様のサポートによって成り立つ

外大建学の精神はこれからも

役立つでしょう

を見ることができてなんだか得をしたような気分。失恋の悲しみ、恋の儂さを歌ったものだそう。さくらんぼのみずみずしい、ほのかな甘さにピッタリ。かすかな甘みが物足りなくて追いかけてしまいそう。

この季節、忙しさにかまけ、すっかり忘れていたのだけど、実は、6月26日で私がフランスに来てちょうど一年だったのです。流れる季節を必死で追いかけていたら気づかぬうちにとうとう一年たってしまった...。なれないことの連続、発見の毎日。本当に、本当にめまぐるしい一年だった。迫ってくる水を飲み込み、すぐに後ろに吐き出すような、魚のような感じ。そして、また水を飲む。この一年の淡さはまさに、このさくらんぼの味。

これからもこうやって続いてゆくのでしょうか。場所は変われど、一見同じ様な毎日を送っているようでも毎日は、みずみずしさ、甘酸っぱさを運んでくる。

今のところ、私がフランスで学んだことは、友人、家族の大切さ。どうしてだろう、日本をはるかに離れ、何千キロも旅をして学んだことがこんな基本のキ、だったとは...!! どうやらどうやら、まだまだ学ばなければならない事が山ほどありそう...と思う30歳の初夏なのでした。

\*\*\* ガンバレ、外大卒業生! \*\*\*

## 京都外大校友会役員紹介



今回の京都外大校友会役員は

昭和45年度英米語学科卒業  
中口泰幸さんです。

### \* 第21回関東地区卒業生の集いに参加して \*

京都の街は祇園祭りのお囃子が聞こえる盛夏を迎えております。本山支部長をはじめ東京支部の皆様には、日ごろから何かとお世話になっております。

昨年の第20回関東地区卒業生の集いには、クラブハッツ会長の代理として東京支部総会へ参加をさせて頂きましたが、この度は校友会本部理事、会計という立場での参加で、今年の4月に任命を頂いたばかりの若輩で、緊張と期待をもって参加いたしました。また今回は名カメラマン、長塚理事の代理でもあり、その大変さも併せて経験させて頂きました。

「TOKYO BAY」が眼下に広がる会場、第一ホテル東京シーフォートでの素晴らしい懇親会は、登川実行委員長をはじめとする皆さんの苦勞と努力が感じられるものでした。

校友会本部並びに支部会は多くの皆様のサポートによって成り立つものです。「不撓不屈」の気持ちを常に忘れず大切にしたい!

京都外国語大学で学んだものは語学だけではない!

この建学の精神はこれからも役立つことでしょう。

昼前に始まった懇親会「Change! Yes, We can」。年代を超えた交流、大

クラブハッツ東京部会

来年 1月 15日開催

校友会の発展に貢献できればと

願っています

**事務局**

103 - 0024

東京都中央区日本橋小舟町

2-9 カーサ日本橋ビル 7階

(株)グローバルメディア内

**電話**

03 - 5623 - 6550

**FAX**

03 - 5501 - 9031

**電子メール**

[tonegawa@gm-group2.net](mailto:tonegawa@gm-group2.net)

企画・編集: 森田 順子

発行責任者: 本山 裕彦

学からも森田理事長・総長をはじめ多数の大学関係者の皆さま方にもご参加いただき、挨拶やメッセージにも英語、フランス語、スペイン語まで飛び出す楽しい集いに、森田理事長・総長に「初孫」誕生の嬉しいニュースも加わり、参加者全員が明るい笑顔で会話を楽しむ事が出来た事に感謝いたします。東京支部の皆様には、日ごろから校友会活動に多大のご理解とご協力を頂き厚くお礼を申し上げます。

また、私ごとですが「クラブハッツ」事務局として来年の1月15日に「クラブハッツ東京部会」の開催を予定しておりますので、ご協力のほどよろしくお願い致します。

まだまだ駆け出しの新米の校友会役員ではありますが、坂本会長をはじめ役員の皆様方に支えられながら校友会の発展に少しでも貢献が出来ればと願っておりますので、今後ともよろしくお願い致します。最後になりますが、東京支部の益々の発展を祈願しております。

**\*\*\* 活動メンバー募集中 \*\*\***

=====事務局便り=====

来月7月4日に開催されました『東京支部総会・懇親会』には、たくさんの同窓生にお集まりいただきました。誠にありがとうございました。今後も現役学生と卒業生、また卒業生同士をつなぐ媒体となるよう、できるだけ多くの卒業生の横顔を引き続きご紹介していきたいと思っております。

皆様の更なるご協力をよろしくお願い致します。

皆様の周りで活躍している卒業生、自薦・他薦を問いませんので、

当事務局宛お知らせいただければ幸いです。

連絡先は >>> [tonegawa@gm-group2.net](mailto:tonegawa@gm-group2.net)

=====